

田沼新聞 38号

稲毛区

媚びない政治、ブレない政治、伝える政治

「千葉維新会」田沼隆志
市議会であだ一人の無所属（保守系） 議会報告



●削減努力なき増税に反対！維新に期待！

民主党が分裂し、小沢一郎氏を代表とする新党ができました。国難の時期に、大義なき政局争いは、うんざりです。しかしこの**混迷の責任の一端は、われわれ国民にもあります。我々国民が、民主党政権を「選んだ」からです。**民主主義は選ぶ権利が国民にあるかわりに、その責任も国民が負います。これは国政も市政も同じです。単に「政治家がダメ」ではないのです。我々は、間違えて選んでしまったことを、忘れることなく、次は間違えないよう気をつけねばなりません。

ただこれは、**政治家が約束を守ることが大前提。**選挙の時の約束(マニフェスト)を守らなくてよいなら、私達国民は何を基準に判断すればよいのでしょうか？ その一点だけでも、民主党は、政権を退くべきです。

ですから、**私は今回の増税には反対です。**増税は市政、市民生活にも大きな影響があり、注目していました。そもそもマニフェストになく、「増税しない」と言って政権についたのですから、約束違反であるのが1点。

反対の2点目は、「税と社会保障の一体改革」とは言いながらも社会保障については棚上げの、増税先行であること。しかも社会保障を「減らす」議論ではなく「増やす」議論が中心。これは全く理解できません。

反対3点目。そもそも歳出削減をしていない。先日、竹中平蔵さんが講演で「アレンナの法則…歳出削減より先に税を上げた国は必ず失敗する」を紹介されていました。今の日本は、毎年1兆円増える社会保障費をいかに抑えるかが極めて重要。例えば年金なら積み立て方式への移行、生活保護なら現物支給化や有期制化など、制度の抜本改革が必要です。それをせずに増税だけするのは、**穴が開いているバケツに水を汲んでいるようなもの。**全く容認できません。

野田総理がブレずに増税を貫くのを評価する人もいますが、まるでトンチンカン。増税は簡単、歳出削減こそが難しいのです。特に社会保障改革は、既得権益団体も多く、すさまじい抵抗があります。**やらないほうが楽なので、志の無い政治家には絶対にできません。その大変な歳出削減に、有言実行で最も挑んでいるのが、大阪維新の会。**あの改革は「みんなが気づいていたけど手を付けると大変だから見て見ぬふりをしていた問題」の改革です。例えば、労働組合の激しい抵抗があった職員の削減や、補助金のカット。教育委員会の責任明確化もそうです。人がやりたがらないことをする政治家というのは最も信頼できると思います。

熊谷市長はまだまだ安全運転で踏み込み不足。私はこれまで千葉市に、維新の改革の要素を取り入れるよう、質問してきました。今後も積極的に提案していきます。



●熊谷市長、言うだけ番長ですか？…①経済編

IR(=Integrated Resort)とは、カジノ・国際会議場・大規模展示場・ホテル・映画館等からなる、統合型リゾートのことです。千葉市の幕張新都心の他、成田やお台場等が候補地と言われています。大阪・沖縄も積極的です。

私は、IRは**成長の起爆剤**になると思っています。数千億円の投資が必要といわれるIRを千葉市に誘致できれば、雇用創出等非常に大きな経済効果が見込まれます。しかし熊谷市長は「経済界の機運があれば…」 「市民県民のコンセンサス次第…」と、リードする姿勢が全くみられません。一方で「成田に誘致は難しい」などとも言います。はっきりしないその姿勢をただしました。

田沼の質問

市長の答弁

IR 誘致を本気でやるのか？ せめてまず、担当組織を立ち上げ、計画だけでも検討すべきでは？

地元経済界の機運が高まったらやる。(田沼：どうも他人事くさい…機運を高めるのもリーダーの役割では?)

では、経済界の機運を高めるために、市としてどういうことをやるのか？

意見交換。(田沼：全然足りません!そんな姿勢では、機運もむしろ下がってしまうのでは?)

市長の消極姿勢には、都市間競争の視点が欠けているのでは?他都市に先を越されてしまうと思わないか?

経済界・市民の機運がなければ、市役所だけ頑張っても仕方ない。(田沼：言い訳にしか聞こえません…)

「地元の機運の高まりがまず必要」と市長は言います。しかし専門家も言うように、**IR誘致は都市間競争。**ライバルも皆、強敵です。「手をこまねいていたら他に獲られる」という**ビジネス感覚や危機感が、市長には明らかに欠けています!** カジノ解禁を含む「IR推進法案」は、今国会提出とも言われており、待たなし。もっと市長が前のめりになり、世論を動かすくらいの、情熱とリーダーシップが必要ではないでしょうか？ リーダーの姿勢として疑問です。

市長は「**10年、20年後を見据えた市政運営がモットー**」と言います。が、それは言葉だけで、**中身があるとは思えません。まさに「言うだけ番長」**です。国の特区制度活用も全く検討していませんし、経済成長の具体的なビジョンは見えません。非常に残念ですが、今後も中身を求めていきます。



千葉市議・田沼隆志（無所属）

- ・昭和50年（1975）生 36歳
- ・園生幼、小中台南小、小中台中、千葉東高、東京大学卒
- ・平成21年千葉市議補選にて最高位当選(11,781票)
- ・平成23年千葉市議選にて再び最高位当選(8,522票)

お気軽にご連絡を♪

Twitter
Blog
Mail
TEL
事務所

@tanumatakashi (投稿多数!)
http://ameblo.jp/tanuma
tanuma@tanuma.info
043-253-9610 (必ずお返します)
小仲台4-14-8 (「園生団地入口」バス停向い)

メルマガ(無料)登録者募集!希望者はメールください!好評です♪